

2018年度

## A 世界史問題

### 注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

#### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I。次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

情報伝達において文字の発明は決定的に重要であった。伝えたい事柄を書きしるすことで、さまざまな情報を保存したり遠方へ運んだりできるようになったからである。古代メソポタミアの遺跡からは楔形文字が刻まれた粘土板が多量に発掘されている。海上交易で活躍したフェニキア人は、<sup>1)</sup>商業活動を円滑に行うために簡便な表音文字をつくり、これはアルファベットの起源といわれる。中国周辺の地域では漢字の影響力が強く、たとえばベトナムの胡朝では漢字をもとにつくられた（イ）という文字の使用が奨励された。<sup>2)</sup>

文字は、粘土、石、パピルス、木や竹、羊の皮などさまざまな素材にしるされてきた。中国では後漢の<sup>3)</sup>（<sup>4)</sup>ロ）が製紙法を改良したことで紙の利用が一般化していき、それはやがて世界中に広まり社会に大きな影響を与えた。たとえば16世紀のヨーロッパの宗教改革では、<sup>5)</sup>製紙と活版印刷の実用化が、改革思想の流布に大きな役割を果たした。紙に活字を印刷する技術の向上により、情報伝達の量と速度が格段に増したのである。

製紙法や活版印刷術と並んで情報伝達にとって画期的であったのは、19世紀における電信の発明と普及である。これによって、従来よりもはるかに短い時間で長距離間の情報伝達ができるようになった。アメリカの<sup>6)</sup>（ハ）が1837年にワシントン・ボルティモア間に世界最初の電信線を架設して以降、1870年代には中国、インド、南北アメリカ、オーストラリアにまたがるグローバルな電信ネットワークが完成した。このうち、<sup>7)</sup>東アジアへの<sup>8)</sup>電信線はシベリア経由でデンマークの大北電信会社によって、シンガポール経由でイギリスの<sup>9)</sup>大東電信会社によって<sup>10)</sup>上海まで敷設された。このような<sup>11)</sup>電信の敷設は、ヨーロッパ列強の世界進出と帝国主義的支配<sup>12)</sup>に強く結びついていた。<sup>13)</sup>

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

空所(ハ)については、前後の文章が不適切で解答不可能なため、全員正解とすると大学から公表されています

B. 文中の下線部1)～13)にそれぞれ対応する次の問1～13に答えよ。

1. この文字でしるされた、ノアの箱舟物語の原型ともいわれる話を含む、ウルクの王を主人公とする英雄伝説は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
2. 古代ギリシア人はこの文字を文化的活動にも盛んに用い、たとえば数多くの詩劇を残した。悲劇『アガ멤ノン』を著した詩人の名をしるせ。
3. 古代ミケーネ文明時代の粘土板に残された線文字Bを言語学者チャドウィックとともに解読したイギリス人建築家は誰か。その名をしるせ。

4. ナポレオンのエジプト遠征の際に、ヒエログリフ、デモティック、ギリシア文字が並刻されている石碑が発見された。その石碑の名をしるせ。
5. この改革に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の①に、次に古いものを②に、以下同じように④まで年代順にマークせよ。
- a. カルヴァンがジュネーヴで神政政治を開始した
  - b. シュマルカルデン同盟が結成された
  - c. ドイツ農民戦争が鎮圧された
  - d. ヘンリ 8 世が首長法を制定した
- ii. プロテスタントの宗派であるカルヴァン派は、スコットランドでは何と呼ばれるか。その名をしるせ。
6. この国が1819年にスペインから買収した領土はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. カリフォルニア
  - b. テキサス
  - c. フロリダ
  - d. ミズーリ
7. この年代の出来事として正しいものはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ヴィクトリア女王のインド皇帝即位
  - b. 太平天国の滅亡
  - c. ブラジル共和国の成立
  - d. リンカンの大統領就任
8. 1642年にバタヴィアを出発しこの地域を探検したオランダの航海者は誰か。その名をしるせ。
9. この地域に関する次の問 i～iv に答えよ。
- i. ヨーロッパ中世の時代に、この地域の西部でとれる毛皮がロシア商人により集められ、現在のロシア連邦北西部に位置する都市で取引された。この都市にはハンザ同盟の四大在外商館のひとつが置かれた。その都市の名をしるせ。
- ii. この地域はロシアの流刑地でもあり、とくに帝政期に多くの農奴や政治犯、刑事犯が送られた。その中には著名な作家も含まれる。19世紀中頃にこの地域に流刑された、『罪と罰』などの作品で知られるロシア人作家の名をしるせ。

- iii. 1891年に、ロシアはこの地域を横断してウラジオストクに至る鉄道の建設を開始した。それによりこの地域の開発が進展し、ロシア首相ストルイピンは同地への農民移住を奨励した。さらに彼は農業改革の一環として、ロシアの伝統的農村共同体の解体を試みた。その農村共同体の名をしるせ。
- iv. 鉄道敷設を機にロシアは極東進出を展開した。19世紀末にロシアの租借地となったのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. 威海衛            b. 九竜            c. 大連            d. 青島
- 10. この国とプロイセンは、シュレスヴィヒとホルシュタインの帰属をめぐり対立した。1864年にプロイセンとともにこの国と戦争をおこなった国はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. イギリス                                  b. オーストリア
  - c. スウェーデン                              d. スペイン
- 11. 1819年にこの都市を建設したイギリスの植民地行政官ラップルズは、1811～16年の間、副総督として別の地域の占領行政を指揮していた。この地域の名をしるせ。
- 12. この都市に関する次の問 i～iii に答えよ。
  - i. この都市の出身で、ヨーロッパ学術の導入につとめ、暦法書や農業技術・政策書の編纂を指導した、明代末期の学者・政治家の名をしるせ。
  - ii. この都市は19世紀中頃に清がイギリスと結んだ条約によって開港した。その条約はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
    - a. 黄埔条約            b. 天津条約            c. 南京条約            d. 望厦条約
  - iii. 1927年にこの都市でクーデタが起きた。このクーデタを主導した人物は誰か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
    - a. 蔣介石            b. 孫文            c. 張作霖            d. 毛沢東

13. 図は、アフリカ大陸縦断政策を唱え、ライフルを背に大陸の南北に電信線を敷設する、あるイギリスの政治家の姿を描いた風刺画である。この図を見て、次の問 i ~ iii に答えよ。



- i. 図の人物の右足がかけられている、電信線がつながれた都市の名をしるせ。
- ii. 図の人物の左足がかけられている地域では、19世紀後半にイギリスをはじめとするヨーロッパ列強の支配が強められた。それに対し1881年に武力蜂起がおこなわれたが、翌年イギリス軍により鎮圧された。この蜂起を指導した陸軍大佐の名をしるせ。
- iii. 南アフリカ内陸部のある地域は、1889年にイギリスの支配下におかれ、1895年に図の人物にちなんだ名を命名された。この地域の南部では、白人政権下で1965年に独立が宣言されたのち、1980年に黒人主体の共和国が成立した。その共和国の名をしるせ。

Ⅱ。次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

第二次世界大戦後、インドはイギリスによる植民地支配から独立した。しかしそれは、主にヒンドゥー教徒からなる<sup>1)</sup>インドと、主にイスラーム教徒からなるパキスタンとの対立<sup>2)</sup>をはらんだままの独立だった。

その後、ある事件をきっかけとしてインドと中国との関係が悪化した。1959年、中国による同化政策に反発したチベットの民衆が反乱を起こした。この反乱によって、チベット仏教の指導者ダライ＝ラマ<sup>3)</sup>14世は当時（イ）が首相をつとめるインドへと亡命した。これに対し中国は、ダライ＝ラマ14世の身柄を引き渡すようインドに要求したが、インドはこれを拒否した。このような背景もあって、1962年、中印国境紛争が起きた。

さらに、中国の侵攻は、インドとパキスタンが領有権をめぐって対立していた、両国の国境上にある（ロ）地方にまで及んだが、インドと敵対していたパキスタン側はこれを歓迎した。なお現在も両国とも、この（ロ）帰属問題をめぐって主張を取り下げたおらず、国境・領土問題はいまなお未解決のままである。

冷戦期<sup>4)</sup>、インドと対立する中国は、インドと国境を接するパキスタン、後にそこから独立したバングラデシュ、さらに<sup>5)</sup>ビルマとも友好関係を構築した。こうして冷戦下のインドは、中国の友好諸国によって囲まれる形になった。インドはこの状況に対応しようと、中国と緊張関係にあったソ連と協力関係を結んだ。しかし、1991年にソ連が崩壊し外交の見直しを余儀なくされたインドは、アメリカに接近するようになった。

一方、中国は、改革開放政策の<sup>6)</sup>継続と経済成長を背景に、本格的に海への進出を始めることになる。胡錦濤に続き中国の国家主席となった（ハ）は、2013年、中国主導の巨大経済圏構想である「一帯一路」政策を打ち出した。その政策のひとつは、インド洋での<sup>7)</sup>プレゼンスを高めることであった。こうした中国の政策によって、インドは陸と海から囲い込まれることを警戒しなければならなくなった。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～7)にそれぞれ対応する次の問1～7に答えよ。

1. イギリスのインド支配に関する次の問i・iiに答えよ。

i. 1757年にイギリスが、フランス・ベンガル太守軍をやぶり、イギリス領インドの基礎を築くことを決定づけた戦いの名をしるせ。

- ii. この時期、イギリスとフランスは、インド以外の地域でも衝突を繰り返していた。ヨーロッパでおこなわれた七年戦争に並行して、両国が北アメリカでおこなった植民地戦争の名をしるせ。
2. インド中部のヒンドゥー王朝であるチャーンデッラ朝が、10～11世紀にかけて建立し、北インド様式の傑作としてユネスコ世界遺産に登録されている寺院群はどこにあるか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アジャンター                                 b. カジュラーホ
- c. ガンダーラ                                    d. ナーランダ
3. この地域にかつて存在した吐蕃の建国者の名をしるせ。
4. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. イランとイラクは長年両国国境にある河川の使用権について対立していた。1979年に起こったイラン革命の余波を恐れたイラクはイランとの国境地帯に侵入し、両国で戦争が始まった。この当時のイラク大統領の名をしるせ。
- ii. 1982年、ある諸島をめぐって、イギリスとアルゼンチンの間で紛争が起きた。その紛争の名をしるせ。
5. この国では、1989年に民主化要求運動が武力で弾圧された事件があった。その事件の名をしるせ。
6. この国は世界で初めて核実験をおこなったが、その後同様に核実験をおこなう国が現れた。これまで核実験をおこなっていない国を次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. イギリス             b. イラク             c. インド             d. パキスタン
7. この海域は、古来、通商路として重要な役割を果たしてきた。とくにこの海域でムスリム商人が用いてきた三角帆の木造船の名をしるせ。

Ⅲ。 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1991年、ソ連が崩壊した。それ以降、旧ソ連から独立した国・地域のいくつかは、西ヨーロッパとロシアの間で翻弄されることになる。そのような地域のひとつとして、ウクライナをあげることができる。

ウクライナのルーツは、ヴァイキングが建国にかかわった国家である（イ）公国にさかのぼる。10世紀末に、<sup>1)</sup>（イ）公はビザンツ皇帝の妹と結婚し、その後（イ）公国は最盛期をむかえた。しかし、13世紀にはこの地域を含めた南ロシアがモンゴルの攻撃を受け、その一部である（ロ）国の支配に屈した。その後、そこからモスクワ公国が台頭し、のちのロシア帝国の基礎となった。18世紀後半帝位についた女帝（ハ）のもとで拡大したロシア帝国は、ウクライナ東部だけでなく、ポーランドの一部も飲み込んだ。こうして、ウクライナ西部にも多くのロシア人が流れ込み、この地域のロシア化が一気に進んだ。

20世紀に入り、1917年に起きたロシア革命によって、ウクライナはロシアから独立を宣言するも、再びロシアによって侵攻を受けた。<sup>4)</sup>その後1930年代初頭、当時のソ連の最高指導者（ニ）が、集団農場化をウクライナに強制した結果、ウクライナは大飢饉に陥った。これによって、数百万あるいは1000万人以上の餓死者が出たといわれている。また、1986年には、ウクライナにある発電所で深刻な事故も起こった。

冷戦が終結<sup>5)</sup>すると、これに乗じてウクライナはソ連から独立を達成することになった。<sup>6)</sup>しかし独立後も、経済は低迷した。そこで、その困難からの脱出をはかりE U加盟<sup>7)</sup>を目指す親ヨーロッパ派がウクライナ西部で台頭し、結果として2004年の大統領選挙で、親ヨーロッパ派の大統領が勝利した。これに対し、ロシアのプーチン政権は改めてウクライナへの影響力を強めるために、2014年、黒海に面しウクライナ領とみなされていたクリミア<sup>8)</sup>に侵攻した。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～8)にそれぞれ対応する次の問1～8に答えよ。

1. このひとりで、イングランド、デンマーク、ノルウェーの3国の王となった人物は誰か。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アルフレッド

b. ウィリアム1世

c. クヌート

d. ロロ



2. この集団は、13世紀のユーラシア大陸に巨大な遊牧帝国を築き上げた。その帝国で盛んになった海上交易で栄えた港市として正しくないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 広州                      b. 杭州                      c. 沙州                      d. 泉州
3. この国は、隣接する国家の間で 3 度にわたって分割を提案され、1795年には完全に分割支配された。第 2 回の分割に対し義勇軍を率いて抵抗し、アメリカ独立戦争にも参加したことがある人物の名をしるせ。
4. この出来事が自国内の労働運動を急進化させることを恐れた資本主義諸国は、軍事力でソヴィエト政権を打倒しようとした。1918～1922年の間、実際にソ連に出兵した国として正しくないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ                  b. ドイツ                      c. 日本                      d. フランス
5. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. この事故は、当時の書記長ゴルバチョフによる国内改革の一端をになった情報公開政策を加速させるきっかけになった。その政策の名をしるせ。
- ii. この事故に関するルポなどをするしたスヴェトラナ＝アレクシェーヴィチは、ウクライナ人の母を持ち、2015年、ノーベル文学賞を受賞した。ノーベル賞の基金には、創設者のアルフレッド＝ノーベルが、あるものを発明することで得た財産があてられた。彼が発明したものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ダイナマイト    b. ディーゼル機関
- c. 電灯    d. 電話
6. この結果、とりわけソ連の影響下にあった東欧諸国では大きな体制変化が起こった。ルーマニアでは、革命が達成されるにあたり激しい戦闘が起き、1989年に大統領が処刑された。その大統領の名をしるせ。
7. 2004年、EUに加盟した国を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. スイス                      b. ノルウェー                  c. ベラルーシ                  d. リトアニア
8. この地域では、1853～56年にかけてロシアとオスマン帝国との戦争がおこなわれた。その時、ロシアはオスマン帝国領内に住むある人びとの保護を開戦の口実とした。保護対象とされたのはどのような人びとだったか。その名をしるせ。

【以下余白】



